

1 目 的

会社は、派遣スタッフのキャリアアップのニーズを明確にし、職業能力を向上させるよう、以下の施策を通じて、キャリア形成の支援を行う。

- ・キャリア形成のためのキャリアコンサルティング
- ・キャリア形成を念頭に置いた派遣先の紹介及び調整
- ・キャリア形成に資する教育訓練

2 キャリアコンサルティングの時期

1. 派遣スタッフのキャリアコンサルティングは、下記の段階において計画に基づき行うこと。
 - ☐ 派遣スタッフとして働き始める前段階
 - ☐ 派遣スタッフとしてキャリアアップする段階
 - ☐ 派遣スタッフの希望に応じて随時

3 派遣先提供に関する会社の方針

1. 派遣先提供については、常に派遣スタッフのキャリア形成を念頭に置いて行う。
2. 派遣スタッフ本人が希望した場合は、派遣スタッフがスキルを伸ばせるように、現在よりも高い能力を必要とする仕事への派遣を検討するなど、派遣スタッフのスキルアップを支援する。
3. 派遣スタッフとの面談においては、本人の希望する勤務条件やキャリアアップの可能性を引き出せるように心がけて面談する。

4 派遣労働者対応

1 派遣労働者に対する相談

1. 派遣スタッフとの相談は、プライバシーに配慮すること。
2. 派遣スタッフからは、将来どのようなキャリアを歩みたいのかについて、希望を聴取すること。
3. 派遣スタッフに対し、これまでの経歴を踏まえたキャリアパスの選択肢を示すこと。
4. 派遣スタッフの希望や経歴を踏まえた選択肢に係る派遣労働の多寡等の労働市場の動向についても情報提供すること。

2 派遣労働者への紹介

1. 希望する条件に合致する派遣労働があったときは派遣スタッフに提示すること。
2. その際、可能なかぎり派遣スタッフのキャリア形成に資する派遣労働から提示するように努めること。

5 派遣先対応

1 派遣先の開拓

1. 派遣先の開拓にあたっては、従来からの顧客については定期的に訪問して派遣受入希望の有無を確認するほか、新規顧客の開拓も積極的に行うこと。
2. 開拓にあたっては、当社に所属する派遣スタッフの特徴及び成果についてアピールすること。

2 派遣受入希望の受付

1. 派遣受入希望の受付にあたっては、その内容が真実であること、法令違反がないことについて予め確認を行うこと。

3 派遣受入条件の見直し

1. 派遣受入条件に見合った派遣労働が極めて少ない状況である場合には、派遣受入条件の見直し等について相談を行うこと

6 教育訓練

1 実施時期・頻度・時間等

1. 派遣労働者全員に対して入職時の教育訓練は必須であること。また、少なくとも最初の3年間は毎年1回以上の機会をもうけ、その後も、キャリアの節目などの一定の期間ごとにキャリアパスに応じた研修等が用意されていること。
2. 実施時間数については、フルタイムで1年以上の雇用見込みの派遣労働者一人当たり、少なくとも最初の3年間は、毎年概ね8時間以上の教育訓練の機会の提供をすること。

2 実施方法

教育訓練の方法として以下のような取組みが考えられます。

- ・ 社内での講座等の開催
- ・ eラーニング
- ・ 外部のスクールとの提携
- ・ 資格取得の支援
- ・ 派遣先におけるOJT
- ・ その他（書籍購入費用の補助 など）

3 内容

教育訓練の内容としては、下記の通りとする。

- ・ 基礎的・共通的な教育訓練
- ・ 業種・職種等に応じた分野別・専門的な教育訓練

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）		派遣業務内容		工場内運搬作業（倉庫作業）	
		派遣業務の具体的内容		自動車部品に関わる製品の入出荷時作業	
	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降	
(1)必要とされる共通のキャリアパス（求める人材要件）	最低限社会に適応するためのマナーを持ち、作業に対する知識・技能を習得している、もしくは知識の習得に真摯に取り組むことができる	指示された作業手順を遵守し一人で業務を遂行することができる。	指示された作業手順を遵守し一人で業務を遂行することができる フォークリフト技能取得者	作業手順を忠実に遂行でき、他社に作業を教えることができるスキルがあり、指導ができる	
(2)(1)に必要なスキル、資質等	ビジネスマナー 作業適応能力	入出荷作業における業務 品質保持・作業効率	リーダーシップ能力 フォークリフト運転能力 教育スキル	マネジメント能力 安全衛生管理者	
(3)教育訓練内容 （上段：様式3号～2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間）	① ビジネスマナー訓練 ・挨拶・礼儀・マナー ・職場のルール習得 ・製品知識・検査作業手順 ・作業ルールの説明と確認 ・作業環境・安全について ・NG品の判別、製品転倒など製品不具合事例 8時間				
		② 品質職務教育訓練 ・製品不具合発生防止法学習（誤出荷・製品転倒発生原因） ・業務注意ポイント ・フォークリフト特別講習 ・入出荷業務における職責 8時間			
			③ リーダー教育訓練 ・報告書記載方法・ポイント ・入出荷管理、書類作成 ・フォークリフト運転技能スキルアップ教育 ・リーダーの職務と心得 ・人を育てる注意指導方法 8時間		
				④ 管理者教育訓練 ・リーダーとしての作業管理、新人教育の指導実施 ・現場リーダーとしての責任 ・クレーム処理対応訓練 ・事業所全体把握と管理 ・マネジメント教育 ・作業環境の問題点と処理対応 ・労務管理 4時間	
(4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技能レベル／キャリアアップにつながる理由	・社会人として派遣先から求められるコミュニケーション能力を身につける ・社会人としての経験を積みキャリアアップに繋げていく ・製品知識、作業手順書等による作業の進め方を習得し、一般的な作業を理解する ・一般的な基本を習得する ・基本的考え方を身につけ、スキルアップをしていく	・製品不具合を未然に防ぐことができる能力を身につける ・色々な職務を体験し、対応できる派遣先を広げる ・通常作業以外の職務にも対応ができ、自信をつける ・仕事への選択肢が広がり、ステップアップに繋がる ・フォークリフト作業の知識・技術を身につけ、仕事の幅が広がることによりステップアップできる ・資格取得者は派遣先リフトを用いて、座学・実習訓練を行う	・リーダーとしての知識を意欲を高め、リーダー業務を理解する ・リーダーとして部下の指導することにより、効果的・安全に働かせる手法を身につける ・製品不具合時への事務能力を身につける ・フォークリフト技能資格取得 ・フォークリフト資格取得により、多くの派遣先で対応できるようになる	・役割を認識し、目的に向けての行動ができ、スキルアップする ・管理職としての向上心とリーダーシップを身につける ・部下育成・業務管理・リスクマネジメント統括を行えるレベル ・管理者に求められる知識・技術を身につけることよりステップアップできる ・安全衛生管理知識・技術を身につけることで職場の管理ができ、自身のキャリアアップに繋がる	

キャリアアップに資する教育訓練（説明用シート）

派遣業務内容	製品製造・加工処理 （自動車部品製造）
派遣業務の具体的内容	自動車部品の製品製造や加工処理業務 製品検査業務

	入職時～1年目	2年目	3年目	4年目以降
(1)必要とされる共通のキャリアパス（求める人材要件）	業務遂行に必要な職業マナーの習得および、製造及び品質管理に関する基礎知識を持ち、それを仲間にも伝えることができ、円滑に働くことができる人材	品質管理（改善）に関する知識を身につけて行動することができ、円滑にコミュニケーションをとることができる人材	品質管理に関する知識を深め、仲間にも伝えることができるコミュニケーション力の獲得	周りに働きかける力を身に付け、自らも主体的に働くことができる人材
(2)(1)に必要なスキル、資質等	ビジネスマナー ヒューマンスキル 作業内容の理解	品質・設備管理（初級）	品質・設備管理（中級） リーダーとしての効果的な コミュニケーションスキル	マネジメントスキル
(3)教育訓練内容 （上段：様式3号—2具体的な教育訓練、中段：上段の内容のわかる事項、下段：訓練計画時間）	① ビジネスマナー訓練 挨拶、言葉遣い、身だしなみ、礼儀、礼節等一般社会人常識 3時間			
	② 製品製造業務従事訓練 作業内容の理解、作業工程、作業の評価と検証 3時間	② 製品製造業務従事訓練 品質管理の基本と仕組み、業務のプロセス管理の重要性の理解 6時間	② 製品製造業務従事訓練 QCの考え方と使い方、統計的分析手法の活用仕方、ISO規格等 4時間	
	③ コミュニケーション訓練 ビジネスシーンに必要なコミュニケーションスキルの習得 2時間	③ コミュニケーション訓練 効果的なコミュニケーションスキルの習得 2時間		④ コミュニケーション訓練 部下のメンタルに配慮したコミュニケーションスキルの習得 2時間
			④ リーダー訓練 上司・同僚・部下との連携による効果的なコミュニケーションスキルの習得 4時間	
				⑤ 管理職訓練 リーダーシップ マネージャーの役割と仕事 2時間
(4)期待される教育訓練の効果／到達すべき知識／技能レベル／キャリアアップにつながる理由	●ビジネスマナー訓練 ・期待される教育訓練の効果 仕事の役立つ論理力・表現力からビジネススキル・ビジネスマナー等総合的な能力を身につける。 ・到達すべき知識・技能レベル 職場で通用するビジネススキル・マナー習得 ・キャリアアップにつながる理由 業務を円滑に遂行することができ、就労の幅を広げることができる。 ●製品製造業務従事訓練 ・期待される教育訓練の効果 担当する工程を一任できる。作業効率向上により、作業時間の短縮化や生産性向上が期待できる。 ・到達すべき知識・技能レベル 作業を滞りなく遂行することができる。作業について問題点を改善することができる。 ・キャリアアップにつながる理由 作業に関する知識、経験を身につけることで業務範囲が広がり、処遇アップにつながる。 ●コミュニケーション訓練 ・期待される教育訓練の効果 円滑な職場のコミュニケーション ・到達すべき知識・技能レベル ポイントを押さえて話す ・キャリアアップにつながる理由 スムーズな情報の発信・受信が可能	●製品製造業務従事訓練 ・期待される教育訓練の効果 全社的な品質管理の推進するための具体的な方法を立案実施する能力を身につける。 ・到達すべき知識・技能レベル 「品質管理」の基本としくみを理解する。「品質保証」のしくみと業務プロセスを理解する。 ・キャリアアップにつながる理由 自工程だけでなく、品質管理についての基礎を理解し、日常の業務に活かすことができる。 ●コミュニケーション訓練 ・期待される教育訓練の効果 顧客と上司、部下間の関係を、よりよくすることができる。 ・到達すべき知識・技能レベル 相手が伝えたいことを引き出す。疑問や反論を想定した説明ができる。 ・キャリアアップにつながる理由 採用面接でもコミュニケーション能力に焦点を当てた企業は増加しており、採用面接時のPRポイントとなる。	●製品製造業務従事訓練 ・期待される教育訓練の効果 全社的な品質管理の推進、向上活動を推進、実践するための具体的な方法を立案実施する能力を身につける。 ・到達すべき知識・技能レベル QC7つ道具などの手法を用いて現状における問題点や優先的に取り組むべき課題を整理できる。品質管理全般について、おおよその理解ができる。 ・キャリアアップにつながる理由 自工程だけでなく、品質管理についての基礎を理解し、日常の業務に活かし、職場を対象にした改善に役立てながら業務を推進する能力を身につけることができる。 ●リーダー訓練 ・期待される教育訓練の効果 スピーチやプレゼンテーションに必要なスキルを身につける。 ・到達すべき知識・技能レベル 論点が本質からずれた場合の軌道修正ができる。相手の表情や態度、ニュアンスの違いに気を配りながら意思疎通できる。部下や後輩が意見を相談しやすい雰囲気、体制作りをすることができる。相手の「理解レベル」に合わせた話し方ができる。 ・キャリアアップにつながる理由 リーダーに必要なコミュニケーションスキルを習得することにより、管理職としての雇用機会が拡大する。結果としてキャリアアップにつながる。	●コミュニケーション訓練 ・期待される教育訓練の効果 リーダーとして、部下と適切にコミュニケーションをとることができる。 ・到達すべき知識・技能レベル 部下の健康状態やコンディション等の状況を把握することができる。 ・キャリアアップにつながる理由 グループワークを通じて、他者の意見を尊重しつつ、自らの行動を振り返ることで、今後の働き方の指標になる。 ●管理職訓練 ・期待される教育訓練の効果 現場リーダーとして、リーダーシップを発揮し、組織をまとめ、目標を達成することができる。 ・到達すべき知識・技能レベル リーダーシップに必要な「4つの能力（①適応力と強靱な精神②意味の共有と他者の巻き込み③意見と表現④高潔さ）」の大切さを理解できる。 ・キャリアアップにつながる理由 リーダーに必要な能力を理解し、身につけることにより、現場において更なるリーダーシップを発揮することができる。